

## 新型コロナウイルス感染症 Q&A

(浜松医科大学 堀井俊伸教授に聞きました。)

2020年4月24日現在

4月20日、国立感染症研究所感染症疫学センターは、感染者との濃厚接触の定義を「発症の2日前から、1メートル以内でマスクを着けずに15分以上の接触」へ変更しました。

### <Q1 登校日について>

富山県で「学校の登校日に感染したのではないか？」というニュースがありました。現在、登校日や家庭訪問を設けている学校、登校日を止めた学校がありますが、登校日を設けることは感染拡大や子どもたちのことを考えるとどうなのでしょう？ また、登校日を設けたとしたら、どんなことに注意したらよいのでしょうか？

**A:** 静岡県内は、地域ごとに感染者の発生が大きく異なっている状況です。一方で、自粛を目的とする休校の場合、長期化するにつれて子どもたちが抱えるストレスも増大します。このようなことから、感染者数が増大していない地域では、登校日を設けてよいと考えます。もちろん、登校にあたっては、正しい感染予防の教育が必要です。濃厚接触となりうるような感染リスクが高い場面を説明し、マスクを着けて過ごす大切さを伝え、そして手指衛生を行うタイミングを明確にします。ここで身につけた感染予防の手技は一生役立つことと思います。

子どもたちが過ごすスペースは、定期的な換気を施し、お互いが1メートル以上の距離をとり続けることができるよう配慮します。十分なスペースが確保できなければ、たとえば学年ごとに登校日や時間帯を設定するといった工夫が必要になるかもしれません。また、感染クラスターが会食の場で多く発生していることから、学校でも昼食はリスクが高い場面だと考えておくのがよいでしょう。

### <Q2 健康観察記録用紙について>

現在、「健康観察記録用紙」を全児童生徒に配布し、体温等の記録をしていますが、担任や養護教諭として、どのようなことに気を付けてチェックしたらよいのでしょうか？ 感染が疑われた時、潜伏期間を考えるとどのくらい前からの記録を参考にしたらよいのでしょうか？

**A** : 37.5℃以上の発熱、呼吸器の症状（せき、たん、のどの痛み、鼻水、息苦しきなど）、味覚や臭覚の違和感をご確認いただき（アレルギー性鼻炎など、原因が感染症でないことがわかっていれば心配はありません）、濃厚接触者に該当している状況でなければ、いずれかの症状がみられる日にかぎり登校を控えてもらうようにします。なお、SARS-コロナウイルス-2を感染させる可能性のある期間は、現在の濃厚接触の定義を参考にしますと、発症の2日間前からとなります。